

令和三年度(第76回)文化庁芸術祭オープニング・オペラ公演
新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ 開幕公演
G. ロッシーニ

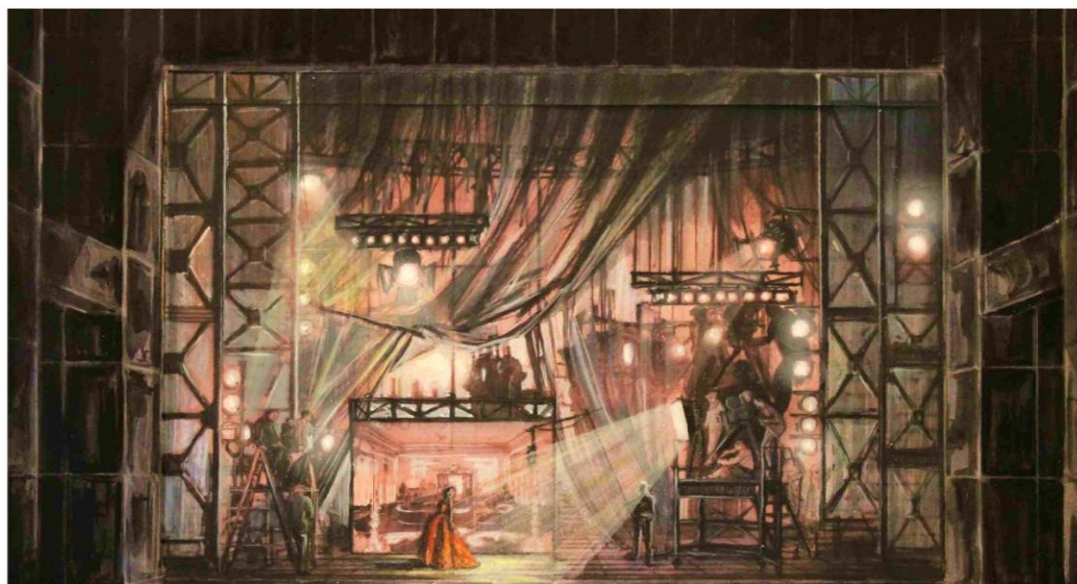
チェネレントラ

新制作

La Cenerentola

2021年10月1日(金)~13日(水)

会場:新国立劇場オペラパレス 2021年8月28日(土)前売開始



『チェネレントラ』セットプラン

おなじみの『シンデレラ』をオペラで! ロッシーニのキュートなシンデレラ・ストーリー

誰もおなじみのシンデレラの物語を、楽しさいっぱいの極上のオペラで! 『チェネレントラ(イタリア語のシンデレラ)』はヒット作メーカーのロッシーニのオペラ。愉快的な重唱に華麗な装飾満載のアリア、早口のアジリタで盛り上がるクライマックスと、ロッシーニの魅力満載です。演出はイタリア・オペラの名手の栗國淳。舞台を黄金期のチネチッタに設定、映画のヒロイン探しの物語に変身させ、幸せを勝ち取る女の子のストーリーを描きます。

コルベッリ、バルベラら世界のロッシーニ歌いと共に、イタリアで大躍進を遂げベルカントの主演を次々射止めている脇園彩が、シーズン開幕公演のタイトルロールに登場。得意のアンジェリーナ(チェネレントラ)役をオペラパレスで披露します。

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式を考慮した演出により上演いたします。

※招聘キャストにつきましては、日本への出入国制限の状況により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

<資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

おなじみのシンデレラの物語を楽しさいっぱいのオペラで！ ロッシーニ喜劇の最高峰

2021/2022 シーズン開幕に、ベルカント・オペラの傑作『チェネレントラ』を新制作！ ヒット作を連発したロッシーニのオペラ・ブッフアが頂点を極めた作品で、おなじみのシンデレラの物語が極上のオペラとなりました。物語は変装に次ぐ変装で笑いいっぱいに進み、愉快な重唱、華麗な装飾満載の Aria、アジリタで盛り上がるクライマックスと、ロッシーニの魅力が満載。フィナーレのチェネレントラ(シンデレラのイタリア語)の Aria「苦しみと涙のうちに生まれ」は、メゾソプラノの絢爛たる Aria として独立して演奏されることも多い名曲です。この大曲が描く、許すことの難しさ、尊さが、フィナーレに深い余韻を与えます。

舞台は黄金期のチネチッタ！ 映画のヒロインをめぐるシンデレラ・ストーリーに変貌



『チェネレントラ』セットプラン

ることでしょう。レトロタッチでチャームポイント満載の美術・衣裳も見どころになりそうです。

演出には、イタリア・オペラの読み込みにかけては随一の演出家、粟國淳があります。粟國淳と舞台美術家チャンマルーギの構想では、舞台は黄金期 1950 年代～70 年代のローマのチネチッタ(映画撮影所)。『チェネレントラ』の映画を撮影しようとしているプロデューサーと映画監督がヒロインの女優を探す物語に変貌します。ロッシーニが描く、自分の力で幸せな人生を勝ち取る少女の姿が、ヒロインを勝ち取る女優に重なります。ロッシーニの『チェネレントラ』には、誰も自分の力で立ち上がって幸せを掴むことができるという人生の応援メッセージがいっぱいです。魔法に助けられるロマンティックな『シンデレラ』とは一味違う、等身大で賢明な女の子の物語が活き活きと語られ、共感を集める

今をときめくロッシーニ歌いたちが集結、活気あふれる舞台をお届けします！

タイトルロールのアンジェリーナ(チェネレントラ)は、イタリアを拠点に年々成熟を見せる脇園彩。チェネレントラはミラノ・スカラ座アカデミー時代に「子どものためのチェネレントラ」でスカラ座デビューを飾った作品で、その後も各地で出演を重ねてきた得意役。オペラ・ファン待望の登場です。王子ラミーロには、2020 年『セビリアの理髪師』で脇園彩との名コンビぶりを見せ、大喝采を浴びた破格のロッシーニ歌いルネ・バルベラが登場します。伸びやかな声と演技は、今回のラミーロ＝映画プロデューサーにも絶妙にあいそうです。チェネレントラの父の男爵ドン・マニフィコには、ベルカントのレジェンドとして活躍を続ける名ブッフオのアレッサンドロ・コルベリ。王子の家庭教師アリドーロにはベルカントの旗手として躍進中のガブリエーレ・サゴーナが登場します。

年々勢いに乗る新国立劇場のベルカント・オペラ、シーズン開幕を飾る『チェネレントラ』が、オペラの楽しさ、そして生きる力をお伝えます。



『セビリアの理髪師』
ルネ・バルベラと脇園彩

<「チェネレントラ」ものがたり>

【第1幕】ドン・マニフィコ男爵の屋敷。男爵の今は亡き後妻の連れ子アンジェリーナは“チェネレントラ(灰かぶり)”と呼ばれて使用人のように扱われ、姉となった男爵の娘クロリンダとティーズベを世話している。心優しいアンジェリーナは物乞いの男に水と食べ物を与える。彼は実は王子ラミーロの家庭教師アリドーロで、貧者に身をやつて王子の花嫁を探しているのだ。従者に扮した王子が屋敷に入り込み、アンジェリーナと一目で恋に落ちる。一方、王子の従者ダンディーニが王子に成りすまして現れ、一家を城の舞踏会に招く。アンジェリーナも行きたがるがマニフィコが拒む。アリドーロはこっそりアンジェリーナを舞踏会に誘う。城の舞踏会では、姉娘2人が偽王子(実はダンディーニ)を取り合うが、突然現れた絶世の美女(アンジェリーナ)に皆が驚く。

【第2幕】城の中。王子姿のダンディーニが出てきてアンジェリーナに求愛するが、彼女は従者を愛しているのだと語る。その言葉を耳にしたラミーロは、早速出てきて求婚する。すると、彼女は腕輪を差し出し、自分を探そう告げて姿を消す。屋敷に帰った男爵と姉たちはアンジェリーナに八つ当たりする。外は嵐になり、馬車が転覆、乗っていたダンディーニが屋敷を訪れる。王子も次いで現れ、アンジェリーナの腕にもう片方の腕輪を見つけて再会を果たし、城に連れ帰る。王宮では、幸せを手にしたアンジェリーナが父や姉たちを許し、フィナーレの大 Aria「苦しみと涙のうちに生まれ」を歌って幕となる。

<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】城谷正博

JOYA Masahiro

東京芸術大学作曲科、同大学大学院指揮科修了。安宅賞受賞。東京フィル、神奈川フィル、仙台フィル、読売日本交響楽団などのオーケストラを指揮。オペラ指揮者としては2000年『フィガロの結婚』でデビュー以来、多くの作品を指揮。特にまつもと市民オペラ『魔笛』（第10回佐川吉男音楽賞受賞）では絶賛を博す。古典から近現代、現代日本オペラまで幅広いレパートリーを持ち、特にワーグナーをその中心に据えている。新国立劇場では音楽スタッフとして1998年以来数多くのプロダクションに参加しており、現在は音楽チーフとして同劇場の全ての演目に携わっている。新国立劇場公演では、本年3月『ワルキューレ』の最終公演を指揮したほか、高校生のためのオペラ鑑賞教室『椿姫』『愛の妙薬』『夕鶴』『蝶々夫人』『トスカ』の指揮を務め、『さまよえるオランダ人』（演奏会形式）、『ジークフリート』ハイライトコンサートではアレンジ及び指揮を担当している。



【演出】栗國淳

AGUNI Jun

東京生まれローマ育ち。ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院でヴァイオリンと指揮法を学ぶ。オペラの演技・演出法をM.ゴヴオーニに師事。新国立劇場ではF.ゼッフィレリ、L.ロンコーニなど巨匠達の演出助手を務めた。1998年から文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊、H.ブロックハウス氏のもとで研鑽を積んだ後、P.ファッジョーニ、A.ファッシーニなどの片腕としてヨーロッパを拠点に活躍。97年藤原歌劇団公演『愛の妙薬』で演出家デビュー。びわ湖ホール、二期会、神奈川県民共同制作『トゥーランドット』『アイダ』『オテロ』、東京二期会『仮面舞踏会』、あいちトリエンナーレ『ホフマン物語』、藤原歌劇団『ファルスタッフ』『ノルマ』、日生劇場オペラ『アイナダマール』（日本初演）『セビリアの理髪師』、紀尾井ホールバロックオペラ『オリンピアアデ』など多数の作品を手掛ける。海外ではサッサリ・ヴェルディ劇場『アンドレア・シェニエ』『エルナーニ』、スロベニア国立マリボル歌劇場『ホフマン物語』を演出している。2011年度エクソンモービル音楽奨励賞を受賞。新国立劇場では『ラ・ボエーム』『セビリアの理髪師』『おさん』『フィレンツェの悲劇／ジャンニ・スキッキ』、小劇場オペラ『外套』を演出。現在、日生劇場芸術参与、新国立劇場オペラ研修所演出主任講師。



【ドン・ラミーロ】ルネ・バルベラ

René BARBERA

アメリカ出身。シカゴ・リリック・オペラ・ライオン・オペラセンター修了。2011年オペラリアコンクール3部門を単独で受賞。シカゴ・リリック・オペラ『ドン・パスクワレ』エルネスト、シアトル・オペラ『チェネレントラ』ドン・ラミーロ、ロサンゼルス・オペラ『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、サンタフェ・オペラ『湖上の美人』ロドリゴ、サンフランシスコ・オペラ『チェネレントラ』『セビリアの理髪師』、ロッシェニ・オペラ・フェスティバル『イタリアのトルコ人』ドン・ナルチーゾなどに次々と出演。パレルモ・マッシモ劇場『椿姫』アルフレード、パリ・オペラ座『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、メトロポリタン歌劇場『アルジェのイタリア人』リンドーロと重要なデビューが続いた。18/19シーズンにはウィーン国立劇場ヘルネストでデビューしたほか、ローマ歌劇場『椿姫』『アンナ・ボレーナ』ペルシー卿、パレルモ・マッシモ劇場『イドメネオ』タイトルロールなどに出演。19/20シーズンはミラノ・スカラ座『愛の妙薬』ネモリーノ、ウィーン国立歌劇場、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵などに出演。新国立劇場には20年2月『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵でデビューし喝采を浴びた。



【ダンディーニ】上江隼人

KAMIE Hayato

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、卒業時に松田トシ賞、アカンサス賞などを受賞。同大学院修了後、イタリアに留学。2006年ディマロ国際声楽コンクール「Val di sole」第1位。第23回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。ブッセートのパレルモ・ヴェルディ・フェスティバルにて11年『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵、15年『リゴレット』タイトルロールを演じ賞賛を浴びる。最近の主な出演に、NISSAY OPERA『セビリアの理髪師』フィガロ、びわ湖ホール・神奈川県民ホール『椿姫』ジェルモン、東京二期会『道化師』トニオ、『ドン・カルロ』ロドリゴ、『リゴレット』タイトルロール、『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵、藤原歌劇団『椿姫』ジェルモン、『ランスへの旅』アルヴァーロ、『リゴレット』タイトルロール、札幌文化芸術劇場『アイダ』アモナズロなどがある。新国立劇場では『アンドレア・シェニエ』ルーシェ、『アイダ』アモナズロに出演している。藤原歌劇団団員。



【ドン・マニフィコ】アレックス・コルベリ

Alessandro CORBELLI

トリノ出身。22歳でデビュー以来、ベルカントとモーツァルトを中心に活躍し続けている名ブッフオ。ミラノ・スカラ座では1989年のデビュー以来、『コジ・ファン・トゥッテ』『フィガロの結婚』『チェネレントラ』などに出演しているほか、英国ロイヤルオペラ、パリ・オペラ座、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、さらにバイエルン州立歌劇場、ケルン歌劇場、ジュネーヴ大劇場、テアトロ・レアル、ナポリ・サンカルロ歌劇場といった著名劇場やザルツブルク音楽祭、ロッシェニ・オペラ・フェスティバルなどの音楽祭に『チェネレントラ』『ドン・パスクワレ』『セビリアの理髪師』『アルジェのイタリア女』『ジャンニ・スキッキ』などで出演を重ねる。近年では、メトロポリタン歌劇場、ウィーン国立歌劇場、チューリヒ歌劇場、ローマ歌劇場などで『チェネレントラ』『ドン・マニフィコ』、サンフランシスコ・オペラ、シカゴ・リリック・オペラ、グラインドボーン音楽祭『セビリアの理髪師』バルトロ、トリノ王立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』、ザルツブルク音楽祭『アルジェのイタリア女』タッデオなどに出演している。今年8月にはグラインドボーン音楽祭『コジ・ファン・トゥッテ』に出演予定。新国立劇場初登場。



【アンジェリーナ】脇園 彩**WAKIZONO Aya**

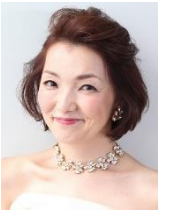
東京生まれ。東京藝術大学卒業、同大学院修了。2013年、パルマ・ボーイト音楽院に留学。14年、ペーザロのロッシェーニ・アカデミーに参加し『ランスへの旅』に出演。同年、ミラノ・スカラ座アカデミーに参加、『子供のためのチェネレントラ』アンジェリーナでスカラ座にデビュー。18年にはペーザロ・ロッシェーニ・フェスティバルでロッシェーニ生誕150年記念『セビアの理髪師』ロジーナに出演。『セビアの理髪師』ロジーナ、『チェネレントラ』アンジェリーナ、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベツラなど、ロッシェーニとモーツァルトをレパートリーの中心に活躍している。ボローニャ歌劇場、フィレンツェ歌劇場、カリアリ歌劇場、バーリ・ペトルツェツリ劇場、ロッシェーニ・オペラ・フェスティバル『セビアの理髪師』、マルティーナ・フランカ音楽祭のメルカダンテ『フランチェスカ・ダ・リミニ』パオロ、カリアリ歌劇場、ロッシェーニ・オペラ・フェスティバル『試金石』クラリーチェ、ヴェローナ・フィラモニコ劇場『フィガロの結婚』、トリエステ・ヴェルディ劇場『コジ・ファン・トゥッテ』、『ナブッコ』フェネーナ、パレルモ・マッシモ劇場『イドメネオ』イダマンテなどに出演。スカラ座アカデミー『セビアの理髪師』、ヴェローナ・フィラモニコ劇場『チェネレントラ』は際立った成功を収めた。新国立劇場へは19年『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラでデビューし、20年『セビアの理髪師』ロジーナ、21年『フィガロの結婚』ケルビーノに出演した。

**【アリドーロ】ガブリエーレ・サゴーナ****Gabriele SAGONA**

イタリア出身。2009年、『ラ・ボエーム』コッリーネを獲得しペーザロのロッシェーニ管弦楽団と共演してデビュー。その後すぐに輝かしいキャリアが開け、イタリア各地の歌劇場へ次々に出演。『ジャンニ・スキッキ』シモーネ、『セビアの理髪師』ドン・バジリオ、『ルチア』ライモンド、『アンドレア・シェニエ』ルーシェ、『ファルスタッフ』ピストーラ、『チェネレントラ』アリドーロなどの役でトリノ王立歌劇場、フィレンツェ歌劇場、ベルガモ・ドニゼッティ劇場、カリアリ歌劇場、ナポリ・サンカルロ歌劇場、ミラノ・スカラ座などに出演を重ねている。最近では、フィレンツェ歌劇場、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場『セビアの理髪師』、ローマ歌劇場『チェネレントラ』アリドーロ、『アイダ』エジプト国王、パレルモ・マッシモ劇場『ファルスタッフ』ピストーラ、ブッセート・ヴェルディ劇場、パルマ王立歌劇場『ルイザ・ミラー』ウルム、パレンシア・ソフィア王妃芸術宮殿、ローマ歌劇場『リゴレット』モンテローネなどに出演している。今年7-8月にはローマ歌劇場で『ラ・ボエーム』コッリーネに出演予定。新国立劇場初登場。

**【クロリダ】高橋 薫子****TAKAHASHI Nobuko**

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。文化庁オペラ研修所第7期修了。第23回ジロー・オペラ新人賞など受賞多数。1991~93年五島記念文化財団の奨学生としてミラノに留学。90年、藤原歌劇団『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナで本格的オペラデビュー。以来『ルチア』タイトルロール、『愛の妙薬』アディーナ、『ロメオとジュリエット』ジュリエット、『リゴレット』ジルダ、『ランスへの旅』コリンナ、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『タンクレーディ』アメイデー、『セビアの理髪師』ロジーナ、『夢遊病の女』アミーナ、『仮面舞踏会』オスカルなど、次々と好評を博す。『魔弾の射手』エンヒェン、『トウランドット』リュウなどにも出演。新国立劇場では『魔笛』パパゲーナ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『セビアの理髪師』ロジーナ、『沈黙』オハル、『鹿鳴館』顕子、鑑賞教室『愛の妙薬』アディーナなどに出演。国立音楽大学、洗足学園音楽大学講師。藤原歌劇団団員。

**【ティーズベ】齊藤 純子****SAITO Junko**

東京都出身。東京藝術大学卒業、同大学院修了。フランス政府給費留学生として渡仏し、パリ、ニューヨーク、ボルドーなどで学ぶ。以後ボルドー大劇場、ナポリ・サンカルロ劇場、ラヴェンナ・ダンテ・アリギエーリ劇場、南チロル音楽祭、チロル音楽祭、サンタンデル音楽祭など欧州各地で活躍している。レパートリーには『ラインの黄金』『神々の黄昏』ヴェルグンデ、『ワルキューレ』ジークリンデ、『パルジファル』クンドリー、『さまよえるオランダ人』ゼンタ、『フィデリオ』レオノーレ、『トスカ』アルツィーラ、『カルメン』タイトルロール、『イドメネオ』イーリアなどがあり、コンサートでもモーツァルト『ハ短調ミサ』、ハイドン『天地創造』、フォーレ、ドヴォルザーク、シューマン『レクイエム』、ベートーヴェン、ベルリオーズ『莊嚴ミサ』、ロッシェーニ、ペルゴレージ『スターバト・マーテル』などの宗教曲からシェーンベルク、ラヴェルの歌曲、さらにベリオ、エトヴェシュといった現代曲まで手掛けている。『アルツィーラ』『ニーベルングの指環』などCD、DVDも発売されている。新国立劇場では『フィレンツェの悲劇』ピアノカに出演した。



令和三年度(第76回)文化庁芸術祭オープニング・オペラ公演
 新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ
 G.ロッシーニ チェネレントラ
 Gioachino ROSSINI/La Cenerentola
 全2幕<イタリア語上演/日本語及び英語字幕付>

【公演日程】2021年10月1日(金)19:00/3日(日)14:00/6日(水)19:00/9日(土)14:00/11日(月)14:00/13日(水)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:27,500円・A:22,000円・B:15,400円・C:8,800円・D:5,500円・Z:1,650円

【前売開始】2021年8月28日(土)

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式を考慮した演出により上演いたします。

※招聘キャスト、指揮者につきましては、出入国制限の状況により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

指揮	城谷正博	ドン・ラミーロ	ルネ・バルベラ
Conductor	JOYA Masahiro	Don Ramiro	René BARBERA
演出	栗國 淳	ダンディーニ	上江隼人
Production	AGUNI Jun	Dandini	KAMIE Hayato
美術・衣裳	アレッシェンドロ・チャンマルーギ	ドン・マニフィコ	アレッシェンドロ・コルベッリ
Set and Costume Design	Alessandro CIAMMARUGHI	Don Magnifico	Alessandro CORBELLI
照明	大島祐夫	アンジェリーナ	脇園 彩
Lighting Design	OSHIMA Masao	Angelina	WAKIZONO Aya
振付	上田 遙	アリドーロ	ガブリエーレ・サゴーナ
Choreographer	UEDA Haruka	Alidoro	Gabriele SAGONA
舞台監督	高橋尚史	クロリンダ	高橋薫子
Stage Manager	TAKAHASHI Naohito	Clorinda	TAKAHASHI Nobuko
		ティーズベ	齊藤純子
		Tisbe	SAITO Junko

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

主催 文化庁芸術祭執行委員会/新国立劇場

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/lacenerentola/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* 2席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。*未就学児入場不可。

* 新国立劇場における新型コロナウイルス感染症拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

新国立劇場 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp> 東京都渋谷区本町1-1-1 京王新線新宿駅より1駅、初台駅直結。